

桔梗が丘東小学校児童用トイレ及び 多目的トイレ整備工事

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-15	1階便所C 現況・改修後	E-01	特記仕様書	M-01	特記仕様書
A-01	改修工事特記仕様書-1	A-16	2階便所A 現況・改修後	E-02	1階コンセント・誘導支援設備図	M-02	機器・器具表
A-02	改修工事特記仕様書-2	A-17	2階便所B 現況・改修後	E-03	2階コンセント設備図	M-03	1階便所A 現況・改修後
A-03	改修工事特記仕様書-3	A-18	3階便所A 現況・改修後	E-04	3階コンセント設備図	M-04	1階便所C 現況・改修後
A-04	改修工事特記仕様書-4	A-19	3階便所B 現況・改修後	E-05	1階便所A コンセント設備図	M-05	1階多目的便所 現況・改修後
A-05	特記仕様書-5	A-20	建具表	E-06	2・3階便所A コンセント設備図	M-06	2階便所A 現況・改修後
A-06	位置図	A-21	改修建具表・部分詳細図	E-07	1階多目的便所 コンセント設備図	M-07	2階便所B 現況・改修後
A-07	配置図	A-22	1階便所天井伏図 現況・改修後	E-08	1階多目的便所 電灯設備・誘導支援設備図	M-08	3階便所A 現況・改修後
A-08	仕上表	A-23	2階便所天井伏図 現況・改修後	E-09	2・3階便所B コンセント設備図	M-09	3階便所B 現況・改修後
A-09	1階全体平面図兼仮設計画図	A-24	3階便所天井伏図 現況・改修後	E-10	1階便所C コンセント設備図	M-10	1階多目的便所 換気設備図
A-10	2階全体平面図兼仮設計画図						
A-11	3階全体平面図兼仮設計画図						
A-12	1階多目的便所 現況・改修後						
A-13	1階多目的便所展開図 現況・改修後						
A-14	1階便所A 現況・改修後						



特記	工事名	桔梗が丘東小学校児童用トイレ及び多目的トイレ整備工事			 1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	表紙・図面リスト	縮尺	-		図番番号	A-00	 1級 256630号 宣室 敦司
	図面提出日	2023/03/24						

改修工事特記仕様書

Table with 2 columns: Section (I, II, III) and Content (Project Name, Summary, Location, etc.)

- III. 建築改修工事仕様
1 共通仕様
2 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の () 内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

Main specification table with columns: Chapter (1-11), Item, and Particular Notes. Includes details on standards, construction conditions, and specific project requirements.

Table detailing chemical substance concentration measurement (13) and other technical specifications (14-27) such as special materials, vibration prevention, and equipment handling.

Table detailing safety and health measures (28) and construction methods (29-35) including noise reduction, site safety, and equipment management.

3 防水改修工事

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Includes sections for 1 アスファルト防水, 2 改質アスファルトシート防水, 3 改質高分子系ルーフィングシート防水, and 4 塗膜防水.

4 外壁改修工事

Table with 4 columns: 外壁, 種類, 改修工法, 浮き部. Includes sections for 5 既存防水層表面の仕上塗装の除去, 6 シーリング, 7 保証書, and 8 アルミニウム製笠木.

3 改修工法等

Table with 4 columns: 施工箇所, 形状, 寸法, 耐清り性, 標準・特注色の別, 耐凍害性の有無. Includes sections for 樹脂注入工法, シール工法, 充填工法, and タイル張替え工法.

4 塗り仕上げ (4.2.2) (10) (表4.2.4 (その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																												
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け																																																												
			・ ゆず肌状	こて																																																												
			・ 平たん状	ローラー																																																												
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 砂壁状	吹付け																																																												
			・ 平たん状	こて																																																												
			・ 凹凸状	ローラー																																																												
	複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー																																																												
			・ 凸部処理	吹付け																																																												
			・ 凹凸状	ローラー																																																												
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状	ローラー																																																													
		・ さざ波状	吹付け																																																													
		・ ゆず肌状	吹付け																																																													
(4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5)	<p>・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコの場合 材所要量 (kg/m²)</p> <p>・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種</p> <p>複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリル シリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。</p> <p>(表4.2.6) 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外壁用塗膜防水材</td> <td>・ 凹凸状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> <td>・ ローラー</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法 (・ テッキブラシ ⊙ 高圧ポンプ)</td> <td>外壁、屋上、庇、階段、巾木、バルコニー、軒天 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4.6.4) 下地調整</p> <p>・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()</p> <p>※軒天などの外装薄塗材Eについては、省略とする。</p>				樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	種類	仕上げの形状	工法	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け	・ 凸部処理	・ 吹付け	・ ゆず肌状	・ ローラー	・ さざ波状	・ ローラー	工法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜はく離工法		・ 水洗い工法 (・ テッキブラシ ⊙ 高圧ポンプ)	外壁、屋上、庇、階段、巾木、バルコニー、軒天 等
樹脂種類	溶媒種類	外 観																																																														
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																														
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																														
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
・ ポリウレタン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																														
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																														
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																																														
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																																														
種類	仕上げの形状	工法																																																														
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け																																																														
	・ 凸部処理	・ 吹付け																																																														
	・ ゆず肌状	・ ローラー																																																														
	・ さざ波状	・ ローラー																																																														
工法	処理範囲																																																															
・ サンダー工法																																																																
・ 高圧水洗工法																																																																
・ 塗膜はく離工法																																																																
・ 水洗い工法 (・ テッキブラシ ⊙ 高圧ポンプ)	外壁、屋上、庇、階段、巾木、バルコニー、軒天 等																																																															
5 建具 改修工事	① 改修工法 (5.1.3)	<p>・ かぶせ工法</p> <p>・ カバー工法</p> <p>・ 持出し工法</p> <p>・ ノンシール工法</p> <p>・ 撤去工法</p> <p>・ はつり工法</p> <p>・ 引抜き工法</p>																																																														
	2 防火戸 (5.1.4)	<p>・ 例示仕様</p> <p>・ 自動閉鎖機構</p> <p>・ 個別認定 (認定番号:)</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p>																																																														
	3 見本の製作 (5.1.5)	<p>・ 製作する</p> <p>・ 製作しない</p>																																																														
	4 防犯建物部品 (5.1.7)	<p>・ 図示 (図面番号:)</p>																																																														
	5 ブラインドボックス等 (5.1.6) (3)	<p>・ 再使用する</p> <p>・ 再使用しない</p>																																																														
	6 アルミニウム製 建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	<p>外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ ()</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級)</p> <p>・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別</p> <p>・ 外部に面する建具 (適度な環境の屋外)</p> <p>・ BA-1 ・ BA-2 ・ ()</p> <p>・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)</p> <p>・ BB-1 ・ BB-2 ・ ()</p> <p>・ 内部に面する建具</p> <p>・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()</p>																																																														

7 網戸 (5.2.3) (5)	<p>・ 可動式 ・ 固定式</p> <p>防虫網の材質</p> <p>・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製</p> <p>網目</p> <p>・ 16メッシュ ・ 18メッシュ</p>			
	8 樹脂製建具 (5.3.2) ~ (5.3.5) (表5.3.1) ~ (表5.3.3)	<p>外部に面する樹脂製建具の性能等級等</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p>		
		<p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>ガラス ・ 複層ガラス ・ ()</p> <p>建具枠見込み寸法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>水切り ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>ぜんば ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号:)</p>		
		<p>・ 吹放し</p> <p>・ 凸部処理</p> <p>・ 平たん状</p> <p>・ 凹凸状</p> <p>・ ひき起し</p> <p>・ 掻き落とし</p>		
	9 鋼製建具 (5.4.2)	<p>鋼製建具の性能等級</p> <p>・ 簡易気密性ドアセット</p> <p>・ 外部に面する建具の耐風圧</p> <p>・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級)</p>		
		<p>(5.4.4)</p> <p>・ H2400又はW950の建具</p> <p>鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)</p>		
		<p>鋼製軽量建具の性能等級</p> <p>(5.5.2)</p> <p>・ 簡易気密性ドアセット</p> <p>(5.5.5)</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>(5.2.2) (2)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>(5.5.3)</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級)</p> <p>(5.5.4)</p> <p>・ H2400又はW950の建具</p> <p>(5.6.3) (1)</p> <p>鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)</p>		
	⑩ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3) (1) (5.2.3) (1)	<p>表面仕上げ</p> <p>・ 塗装</p> <p>・ ビニル被覆鋼板</p> <p>・ カラー鋼板</p> <p>・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)</p> <p>・ (焼付塗装)</p>		
		11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)	<p>ステンレス製建具の性能等級</p> <p>・ 簡易気密性ドアセット</p> <p>・ 外部に面する建具の耐風圧</p> <p>・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)</p> <p>・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)</p> <p>・ 耐震ドアセット (等級)</p>	
			<p>(5.6.3)</p> <p>材料 ・ SUS304 ・ ()</p>	
<p>(5.6.4)</p> <p>表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()</p>				
12 建具用金物 (5.7.2)		<p>金物の見え掛り部等の材質等</p> <p>・ 改修標準仕様書 (表5.7.1) による</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p>		
		<p>(5.7.4)</p> <p>マスターキー ・ 製作する (既設合わせ) ・ 製作しない</p> <p>引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要</p>		
		<p>13 自動ドア開閉 装置 (5.8.2)</p> <p>駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 多機能トイレル入口)</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p>		
14 自閉式上吊り 引戸装置 (5.9.3)		<p>(5.8.3)</p> <p>引き戸用検出装置の種類</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p>		
		<p>(5.8.3) (7)</p> <p>凍結防止措置 ・ あり ・ なし</p>		
		<p>自閉式上吊り引戸装置の性能値</p> <p>・ 改修標準仕様書 (表5.9.1) による ・ ()</p>		
15 重量シャッター (5.10.2)	<p>種類</p> <p>・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター</p> <p>・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター</p>			
	<p>耐風圧強度 (Pa以上)</p>			
	<p>開閉機能</p> <p>・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式</p>			
16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)	<p>一般重量シャッターのシャッターケース</p> <p>・ 設ける ・ 設けない</p> <p>・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()</p>			
	<p>開閉形式</p> <p>・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式</p>			
	<p>耐風圧強度 (Pa以上)</p> <p>スラットの材質及び形状</p> <p>・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形</p> <p>・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()</p> <p>JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()</p>			

17 オーバーヘッド ドア (5.12.2)	<p>型式及び機構</p> <p>セクション材料</p> <p>・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</p> <p>耐風圧強度 (Pa以上)</p> <p>開閉方式</p> <p>・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</p> <p>収納形式</p> <p>・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーシャル形</p>																																					
	18 板ガラス (5.13.2) (1) (5.13.4)	<p>(5.12.3)</p> <p>ガイドレール</p> <p>・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p>																																				
		19 ガラス留め材 (5.13.2) (2)	<p>・ シーリング ・ ガスケット ()</p>																																			
			<p>20 ガラス溝の寸法、 形状等 (5.13.3)</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 建具の製造所の仕様による</p>																																			
	21 ガラスブロック 積み (5.13.5)	<p>ガラスブロック</p> <p>表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>工法 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。</p>																																				
		6 内装 改修 工事	① 一般事項 (6.1.3) (2)	<p>既存間仕切り壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table>		改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示	・ 壁	・ 図示	・ 床	・ 図示																									
				改修部分	改修範囲																																	
	・ 天井			・ 図示																																		
	・ 壁		・ 図示																																			
	・ 床		・ 図示																																			
(6.1.3) (3)	<p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲</p> <p>・ 図示</p>																																					
(6.1.3) (5)	<p>天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修</p> <p>・ 図示</p>																																					
② 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2) (1) (7)	<p>既存床仕上げ材の除去等</p> <p>浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p>																																					
	(6.2.2) (1) (4)		<p>合成樹脂塗る床材の除去等</p> <p>・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法</p>																																			
(6.2.2) (3)	<p>改修後の床の清掃範囲</p> <p>・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲</p> <p>()</p>																																					
3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	<p>既存間仕切り壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法</p> <p>()</p>																																					
4 木下地等 (6.5.1) (3) (表6.5.1) (表6.5.2) (表6.5.3)	<p>表面仕上げ</p> <p>機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種</p> <p>木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table>		部材名称	種 別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種																														
	部材名称	種 別																																				
	下地材	・ A種 ・ B種																																				
造作材	・ A種 ・ B種																																					
(6.5.2) (2) (7)	<p>製材</p> <p>「製材の日本農林規格」による製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>		部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																																	
下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
(6.5.2) (2) (4) (6.5.2) (2) (9) (表6.5.4)	<p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <p>樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()</p> <p>樹種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>産 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		部 位	樹 種	産 産 材																																	
部 位	樹 種	産 産 材																																				
(6.5.2) (3) (7)	<p>造作用集材材</p> <p>「集材材の日本農林規格」による造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>品 名 ・ 樹 種</th> <th>見付け材面の寸法・品質・数</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集材材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用 集材材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用 造作用集材材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>※三重県産材を使用すること。</p>		部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		化粧ばり造作用 集材材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	化粧ばり構造用 造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																				
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																																			
造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																				
化粧ばり造作用 集材材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																			
化粧ばり構造用 造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																			



(6.5.2)(3)(4)	「集材材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質・図示 含水率 ・ 15%以下 ・ ()
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部位 品名・寸法 表面の品質 防虫処理 造作用単板積層材 図示 (図面番号:) () ()
(6.5.2)(4)(4)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理・図示 (図面番号:) 含水率 ・ 14%以下 ・ ()
(6.5.2)(5)	「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)
(6.5.2)(6)	合板等 品名 (品目) 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ 構造用合板 I類 24
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)
(6.5.5)(1)	防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 防腐剤Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 () ・ 適用部材 ()) ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()
(6.5.5)(2)	防虫処理 図示 (図面番号:)
5 軽量鉄骨天井 地	野縁等の種類 屋内 19形 () 屋外 25形 () 形式及び寸法 屋外 図示 (図面番号:) 耐震天井 図示 (図面番号:) ふところ高1.5m 改修標準仕様書(6.6.4)(8) 図示 (図面番号:)
(6.6.2) (表6.5.1) (6.6.3)	既存埋込みインサート 使用する () 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う) 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 行う (図示 (図面番号:)) 行わない 確認試験の箇所数 (箇所) 確認強度 () 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 図示 (図面番号:)
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナーなどの種類は、(表6.7.1)による。
7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル 張り	材料 ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 FS 無地 2.0mm 参考型番: 防汚性床シート又は床タイル 種類 寸法 厚さ 備考
(6.8.2)(1) (6.8.2)(3)(4)(a)	工法 下地 モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 (コンクリート)
(6.8.3)(1)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 適用する 適用しない
8 カーペット敷き (6.9.3)(1) (表6.9.1)	織じゅうたんの種類 色柄 種類 糸の種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度 色柄 A種 ・ そ毛 ・ カットバイル 人体帯電圧 無地 B種 ・ 紡糸 ・ ループバイル 3KV以下 () C種 () ・ カット、ループ併用 () 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	タフテッドカーペット バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 カットバイル 人体帯電圧 全面接着工法 () ループバイル 3KV以下 グリッパー工法 () カット、ループ併用 ()
(6.9.2)(3)	ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 備考 人体帯電圧 3KV以下 () ()
(6.9.2)(4) (表6.9.2)	タイルカーペット 種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度 カットバイル 500×500 6.5 () ループバイル () () ()
(6.9.2)(5) (6.9.2)(6)	下敷き材 第2種第2号、厚さ8mm () 見切り、押え金物 適用する (材質、種類及び形状 図示 (図面番号:))

(6.9.3)(3)	織じゅうたんの接着方法 ヒートボンド工法 ()
(6.9.3)(5)	タイルカーベットの敷き方 平端 市松敷き ・ 横様流し () 階段部分 市松敷き ・ 横様流し ()
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)~ (6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 平滑仕上げ 防汚仕上げ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 薄膜流しのべ仕上げ (平滑・防汚) 厚膜流しのべ仕上げ (平滑・防汚) 樹脂モルタル仕上げ (平滑・防汚) 薄膜型塗床仕上げ (平滑)
10 フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)	釘留め工法 材料 種別 樹種 フローリングボード (根太張用) A種 なら 複合フローリング (根太張用) B種 () C種 防湿処理 図示 (図面番号:)
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	接着工法 材種 樹種 厚さ 大きさ フローリングボード (直張用) なら フローリングブロック (直張用) () 複合フローリング (直張用) A種 B種 C種
(6.11.6)(3)	継ぎ材 ・ 合成樹脂発泡シート 図示 (図面番号:)
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) オイルステイン塗りのうすワックス塗り 生地のままワックス塗り () 種類 A種 B種 C種 D種 D種の畳床 K T (I II III K N)
12 せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	材種 種別 厚さ(mm) せっこうボード 壁 12.5(不燃) 21(不燃) 天井 9.5(準不燃) 12.5(不燃) 化粧せっこうボード トラバーチン模様 9.5(不燃) 9.5(準不燃) 木目模様 9.5(不燃) 9.5(準不燃) 普通 9() () ロックウール化粧吸音板 立体模様 9() () けい酸カルシウム板 タイプII 0.8FK 6 8 化粧けい酸カルシウム板 タイプII 0.8FK 6 シージングせっこうボード 12.5(不燃)
(6.13.2)(8)	造音シール材 シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(5)(7)	合板類の張付け A種 B種
(6.13.3)(7)(7) (表6.13.5)	せっこうボードの目地工法 縫目処理 突付け 目透し
13 壁紙張り (6.14.2)	施工箇所 種類 防火性能 図示 不燃 準不燃
14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状:) 床の目地 図示 (図面番号:) 下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mm超 図示 (図面番号:)
15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 図示 (図面番号:) タイルの種類 施工箇所 形状 寸法 耐滑り性 標準・特注色の別 耐凍害性の有無 便所床 磁器質モザイク 25角 標準
(6.16.3)(2)	試験張り 行う 行わない 見本焼き 行う 行わない 既調合モルタル 使用できる 使用できない
16 セルフレベ リング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	せっこう系 ・ セメント系 塗厚 () mm
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 種別 厚さ(mm) 施工箇所 ピーズ法ポリスチレンフォーム 3種b 25 接地部分 押出法ポリスチレンフォーム A種硬質ウレタンフォーム フェノールフォーム
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ[mm] 施工箇所 A種1 () 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版 A種1H () 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

7 塗装 改修 工事	1 材料 (7.1.3)	屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR/B種の場合) 図示 (図面番号:) 種別 下地 種別 ひび割れ部の補修 木部 RA種 RB種 RC種 鉄鋼面 RA種 RB種 RC種 亜鉛めっき鋼面 RA種 RB種 RC種 モルタル、プラスター面 RA種 RB種 RC種 行う コンクリート、A L Cパネル面 RA種 RB種 RC種 行う コンクリート、押出成形セメント板面 RA種 RB種 RC種 行う せっこうボード、その他ボード面 RA種 RB種 RC種 ※木部、ボード面の新規面については、素地B種とする。
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1)~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 鉄鋼面 A種 B種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種
	4 合成樹脂調合ベ イント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	塗料種別 1種 () 種別 下地 種別 木部 A種 B種 C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種
	5 クリヤラッカー 塗り(QL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 A種 B種
	6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 A種 B種
	7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 1級(フッ素系) 2級(シリコン系) 3級(ポリウレタン系) 種別 下地 種別 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 コンクリート面及び 押出成形セメント板面 A-1種 A-2種 B-1種 B-2種 C-1種 C-2種
8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別 コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面 木部(屋内) A種 B種 C種 鉄鋼面(屋内) A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面(屋内) A種 B種 C種	
	9 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 A種 B種 C種 しみ止め ()
9 環境 配慮 改修 工事	1 石綿含有建材の 除去工事 (9.1.1)	施工調査 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、 監督職員に報告する。 調査範囲 図示 (図面番号:) () 貸与資料 ()
	(9.1.5)	石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示 (図面番号:) 石綿含有せっこうボードの処分 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による) ※「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」(平成29年5月30日付け 環水大発第1705301号)及び「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材から の石綿粉じん飛散防止処理技術指針」(平成28年4月28日 国立研究開発法人 建築研究所)に 基づき適切に処理すること。
10 その他 工事	1 トイレブース	パネル表面材 ※メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) 脚部 (スチール製) ※縦木タイプ 脚金物タイプ
	2 点検口	天井点検口 ※アルミニウム製 (※縦木タイプ ・ 目地タイプ) 床点検口 ※アルミニウム製 ・ ステンレス製 受け枠 ()



